

探究課題:学校林「学びの森」を支える地域の人々の活動と活動に込められた願いや思い

「学びの森」をもっと「学べる森」にしようプロジェクト

本校で育成する資質・能力

知識及び技能, 課題発見力, 論理的思考力, 主体性, 協調性, 自らへの自信

1. 日時 平成30年6月22日(金) 第4校時
2. 学年 第4学年3組 (男子14名 女子18名 合計32名)
3. 単元設定の理由

(1) 児童の実態から

本学年の児童は、第3学年の総合的な学習の時間「西野の宝『梅林』を復活させようプロジェクト」において、地域の方々が進めておられる「梅林復活活動」について学習し、自ら「西野の宝『梅林』を地域に広めよう」という課題を設定して取り組んだ。具体的には、これまで取組を進めてこられた地域の方に梅林のいわれや歴史をインタビューしたり、幼稚園児と一緒に梅の実を収穫し、梅干しや梅ジュース作りを地域の方々と一緒に行ったりした。また、完成した梅干しや梅ジュースを全校児童にふるまったり、西野梅林のイメージキャラクターである「うめいっくん」を考案して西野梅林のイメージアップに努めたりした。さらには、地域のとんど祭りで、それらを商品として売る活動を行い、社会科「店ではたらく人びとの仕事」で学んだ店の様子や店員の思いや願い、接客、工夫していること等について改めて振り返り、買い手のことを考えながら商品売るという貴重な体験をすることもできた。学年末には、地域の方々と梅の植樹も行い、歴史ある「梅林」を復活させるための活動に参加した。このような学習活動を通して、地域環境のよさや人の温かさに気づき、地域に対する愛着を深めることができた。また、地域の方と度々活動を行ったことで、地域の方とのつながりもできつつある。

第4学年になり、4月に実施したアンケートにおいて、西小学校区の自慢を尋ねたところ、次のような回答結果であった。(複数回答可, 自由記述) n=32

自慢に思うこと	回答した児童の割合
地域の方が優しい, 協力してくれる	41%
梅林	22%
「学びの森」	22%
西野川	16%

この結果から、前年度の第4学年が取り組んできた『学びの森』を地域の宝物、誇りであると思っている児童は22%で、西小学校にしかない特別なものという認識には至っていないと考える。

5月に実施した本校で育成を目指す五つの「資質・能力」に関するアンケート調査では、次のような結果であった。

n=32		
資質・能力	アンケート項目	肯定的評価の割合
課題発見力	授業では調べてみたい課題を見付けていますか。	67%
論理的思考力	授業では、情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を見付けたりして何が分かるのか考えていますか。	77%
主体性	課題発見・解決場面では、課題に対する自分の考えをもち、解決に向けて進んで行動していますか。	70%
協調性	集団解決場面では、相手の意見を受け止めて話し合い、より良い解決に向けて協力して取り組んでいますか。	83%
自らへの自信	自分の目標に向かって最後まで努力していますか。	90%
	自分は成長していると思いますか。	90%
	地域のよさを知っていますか。	97%

これらのことから、自分の努力を認めることができる児童は多いが、課題を発見したり、課題を解決するために論理的に考えたりする態度は、十分身に付いているとは言えない。

(2) 題材について

「学びの森」は、平成 24 年、地域の方々の「自然に触れ合ってほしい」「外で元気よく体を動かしてほしい」といった思いから造られた森（学校林）である。ここには、ブランコやロープのぼりといった遊具、「かぶとむしの館」「オオムラサキの家」といった生き物と触れ合える場、「あじさい」「しいたけ」の植物と触れ合える場、「やきいも場」等活動する場と様々なものがある。また昨年度、頂上にバイオ式エコトイレが設置された。一昨年度から、児童が直接「学びの森」の環境づくりに関わり始めている。

第 3 学年で学んだ地域の「梅」の学習を活かし、より主体的に「学びの森」との関わりを児童自ら設定してつくることで、本校の特色ある教育資源、学校林「学びの森」を題材としてそのよさに気付かせることができ、地域に対する愛着をさらに高めることができると考える。実際に地域の人とかかわりをつくりながら学習を進めることで、地域の人の温かさに改めて気づき、自分たちが地域の方に温かく見守られながら生活を送っていることにもより深く感謝することができる。さらに、地域特有のよさを知り、それらを情報として発信することは、地域に対して誇りをもったり、自ら地域社会にかかわったりする姿勢にもつながると考える。

以上のことから、『学びの森』をもっと『学べる森』にしよう」は、児童がよりよい郷土を創造する土台をつくるために適した題材であると言える。

4. 単元目標

学校林である「学びの森」がつくられた背景にある地域の方の思いや願いを聞き、それらをベースにした「学びの森」を学習材とする課題を設定し、課題解決に取り組むことを通して育成すべき六つの「資質・能力」を身に付ける。

5. 単元の評価規準

		資質・能力	評価規準
知識及び技能		知識・技能	「学びの森」や西小学校ひいては、地域の自然の豊かさや地域を愛する人々の取組や願い、思いに気付いている。
思考力、判断力、表現力等		課題発見力	「学びの森」に対する地域の願いを聞き、「学びの森」をもっと学べる森にできるような課題を見付けるとともに、解決する過程の中で新たな課題を見付けている。
		論理的思考力	「学びの森」という名称で児童に定着していながら、何が学べるかよく知られていないという現状を関連付けしながら、「学びの森」でできる学習活動について考えている。
学びに向かう力、人間性等	自分自身に関わること	主体性	「学びの森」をもっと学べる森にするために、自分ができることを考え、進んで活動している。
		自らへの自信	「学びの森」をもっと学べる森にするために、試行錯誤を繰り返しながらやりきり、達成できた自分の成長を認めている。学習の成果等の広報活動を通して、「学びの森」を西小学校の自慢の宝として自覚し、これまで以上に地域に愛着をもっている。
	他者や社会に関わること	協調性	他者の様々な意見を受け止めて話し合い、「学びの森」の活用に向けて協力して、自分ができることに取り組んでいる。

評価

知…知識・技能 課…課題発見力 論…論理的思考力 主…主体性
自…自らへの自信 協…協調性

6. 指導計画（全 64 時間 本時 15／64）

	探究の過程 評価	学習活動	関連する 教科等
よう 梅林を3年生に伝え (6)	課題の設定 課 まとめ 知自	○昨年度の梅林の学習でできなかったことを確認する活動を通して、課題を設定する。(1) 【小単元の課題】自分たちのしてきた梅林の学習を3年生に伝えよう。 ○梅林へのなかよし遠足の計画を立て、準備をする。(4) ○梅林へなかよし遠足に行き、学習したことを伝える。(時間外) ○なかよし遠足の振り返りをする。(1)	
「学びの森」での学習活動を考えよう (20)	課題の設定 課 情報の収集 主 整理・分析 論 情報の収集 課協 整理・分析 論 まとめ 知課	○「学びの森」へ行き、昨年度の「学びの森」ツアーのことを振り返る。(1) ○昨年度の引き継ぎから、課題を設定する。(1) 「学びの森」をもっと「学べる森」にしよう ～自分たちの宝物として、自慢できる場所にしよう～ ○全校児童と全職員にアンケート調査をする。(4) ○アンケート結果の分析をし、活動内容を精選する。(2) ○「もっと学べる森」にするために学習計画を立てる。(1) 【小単元の課題】「学びの森」での学習活動を考えよう。 ○地域の方に「学びの森」について聞き取りをする。(1) ○「学びの森」に行き、実地調査をする。(3) ○「学びの森」での学習活動を考える。(4)【本時 3/4】 ○「学びの森」の清掃活動を行う。(2) ○1学期の活動の振り返り、新たな課題への見通しをもつ。(1)	理科 あたたかくなると ・春の生き物について知る 国語 よりよい話し合いをしよう ・話合いの仕方 国語 新聞をつくろう ・情報の整理の仕方 国語 自分の考えを伝えるには ・分かりやすい発表の仕方
「学びの森」ツアーをしよう (20)	課題の設定 課 情報の収集 主 実行 自 整理・分析 論協 整理・分析 論協 振り返り 知課	○「学びの森」に行き、夏休み後の状況を確認する。(1) ○1学期の振り返りを行い、学習計画を立てる。(1) ・「学びの森」学習活動ツアーを4年生で行い、改善する。 ・「学びの森」学習活動ガイドブックの製作をする。 【小単元の課題】「学びの森」ツアーの計画を立てよう。 ○「学びの森」学習活動ツアーの準備をする。(2) ○「学びの森」学習活動ツアーを4年生で行う。(4) ○活動後の振り返りから、改善案を考える。(2) ○考えた学習活動をまとめた「学びの森」学習活動ガイドブックを作る。(9) ・内容を検討する。 ・レイアウトを検討する。 ○活動を振り返り、新たな課題への見通しをもつ。(1)	理科 すずしくなると ・秋の生き物について知る 国語 調べたことを整理し、発表しよう ・分かりやすい発表の仕方 国語 「クラブ活動リーフレット」を作ろう ・情報のまとめ方
「学びの森」報告会をしよう (18)	課題の設定 課 情報の収集 主論 実行 主協 実行 主協 情報の収集 主 整理・分析 協 まとめ・創造・表現 主協 実行 主協 振り返り 知自	○2学期までに取り組んできたことを振り返り、3学期の学習課題を設定する。(1) 【小単元の課題】「学びの森」の学習活動を紹介しよう。 ○「学びの森」学習活動ツアーの準備をする。(1) ○考えた学習活動のツアーをする。(5) (対象：1～3年生、地域の方、保護者、他校児童、幼稚園児) ○『「学びの森」報告会』の準備をする。(3) ○地域の「学びの森」整備作業に参加した後、「学びの森」報告会をする。(1) ○取組の成果と課題を知るために、全校児童やツアー体験者にアンケートをとる。(2) ○アンケート結果を分析し、これまでの取組の成果と課題をまとめる。(1) ○3年生への引き継ぎの準備をする。(2) ○3年生への引き継ぎ式をする。(1) ○1年間の活動を振り返り、新たな課題への見通しをもつ。(1)	理科 寒くなると ・冬の生き物について知る 国語 「わたしの研究レポート」 ・情報のまとめ方

7. 本時の学習 【15／64】

(1) 本時の目標

「学びの森」をもっと「学べる森」にするための学習活動を提案し、他者から意見や質問をもらうことで自分たちの活動案を再検討することができる。★【論理的思考力】

(2) 本時で目指す「主体的・対話的で深い学び」の姿

他者との対話を通して、思考を深める発問である「学びの森」で学習活動をしなさいといけない理由について考えている姿。

(3) 準備物

自分の考えを書いた付箋、班で整理する画用紙

(4) 研究仮説にかかわって

① 学びを深める書く活動

- ・ 振り返りを書く際に授業で考えたことやこれからの活動に生かしたいことの視点で書くようにする。

② 対話の充実

- ・ 理由や根拠を明確にしながら話合いをさせる。分からないことやイメージできないところは質問したり、付け足し合ったりしながら話合いをさせる。

(5) 学習の展開

学 習 活 動	指導上の留意事項（・） 「努力を要する」状況と判断した児童 への指導の手だて（◆）	★望ましい姿 【資質・能力】
1 前時までの学習を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。	・ ゲストティチャーからのお話を簡単に振り返ることを通して、「学びの森」には地域の方々の思いや願いがこめられていることを意識させる。	
どのような学習活動を提案すれば、もっと「学べる森」になるのか？		
3 考えてきた活動案を班で交流する。	・ 付箋に書いた活動案を班で交流させながら、似ている意見と異なる意見を分類する。 ・ 一つの活動案に対して、質問・意見・感想を伝えることを通して、活動案に対してのイメージを明確にさせる。 ◆ 主体的に話合いに参加できていない児童に寄り添い、他の児童の意見や質問を参考にさせる。	★他者からの意見や質問を受け、自分の活動案に修正や改善を加えたり、思いを強くしたりしている。



例えば、どんなことが学べますか？



- ・ 児童から出された意見を分類して板書する。
- ・ 机間指導をして、児童の意見を把握しておき、全体交流で意図的指名をする。



5 話を合点を振り返り、次時の確認をする。



- ・ 授業での話合いを通して、考えたことを振り返りに書く。

- ★ 提案に対して、質問を考へたり、質問に対して理由を答へたりしている。

「学びの森」をもっと「学べる森」にしよう。

国語 俳句
森で音読
パンフレット
説明文
紹介文

音楽 「学びの森」の歌をつくる。
森でリコーダー演奏
楽器づくり

体育 「学びの森」サーキット
ロープ登りで体力づくり

理科 昆虫の体のつくり
昆虫の一生
カブトムシ
オオムラサキ
様々な植物の観察

なぜ「学びの森」で？

- ・西小の宝である「学びの森」に愛着や誇りをもってほしいから。
- ・地域の方の願いがこもった森を活用することを通して、その思いに応えるため。
- ・「学びの森」のよさをもっと多くの人に知ってほしいから。